

令和6年度関東地区福祉研究発表会【介護技術部門】 1段階課題

佐藤 孝さん（88歳・男性）は、50歳のときに糖尿病を発症し、治療を行ってきた。80歳からは通所介護を利用してきたが、2年前に、家事の多くを担ってきた妻が他界。血糖のコントロールができず、網膜症が進行し、両目の視力が低下した。また、家に一人であることが多くなり、認知機能の低下も進み、日常生活に支障が出てきたことから、1年前から特別養護老人ホームに入所している。

入所してからは、自分のことは自分でやりたいという思いが強く、施設の職員の手伝いのかって出るなど意欲的に生活を送っている。本人は同じユニットの入居者や職員とも良好な関係を築いていると思っている。

課題

健康状態 心身機能 身体状況	・糖尿病（糖尿病性網膜症） ・高血圧 ・視力（20cm先の文字がころうじて見える程度。） ・前立腺肥大症 ・要介護3 ・認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱb ・障害高齢者の日常生活自立度A-1 ・聴力（80代の平均的なレベル、声がやや大きい。）
活動	・利き手：右 ・座位：可 ・移動：一部介助（下肢筋力の低下により多少のふらつきがある。視力が低下しているため見守りが必要。） 4点杖を使用 ・移乗：一部介助（介護者の支え等があれば可能。） ・食事：自立（箸を使用） ・入浴：一部介助（浴槽に入る動作等に支えが必要。洗体時、背部は一部介助。） ・排泄：一部介助（尿意・便意はあり。トイレを使用するが常時、リハビリパンツを着用している。） ・更衣：一部介助 ・整容：一部介助（洗顔等は可能だが、爪切りや髭剃りについては支援が必要。） ・コミュニケーション：会話は可能で、意思疎通に問題はない
参加	・日中はテレビを見て過ごすことが多い。 ・レクリエーションや施設の行事には積極的に参加している。 ・同じことを何度も話したり、同じユニットの人に指図したりをするので煙たがられている。他の入居者からは先生と呼ばれている。
個人因子	・88歳 男性 ・5人兄弟の次男 ・中学校の教員(社会科)を60歳までしていた。退職後は、妻と車での旅行を楽しんでいた。 ・部活では柔道部の顧問をしていた。 ・責任感が強く、面倒見がよい。
環境因子	・妻は2年前に他界。 ・兄は他界、弟3人が同じ市内に住んでいる。 ・弟3人が時折面会に来る。